

2025 年 12 月 2 日

株式会社ハレックス、米軍 JTWC 台風予測情報の提供開始 － 3 機関の気象予測情報を活用し、幅広い視点からリスク判断が可能に －

株式会社ハレックス(本社:東京都、代表取締役社長:藤岡浩之、以下ハレックス)は、当社が展開する気象 ASP サービス「HalexForesight!」および気象 API サービス「HalexSmart!」の新規メニューとして、従来の気象庁(JMA)、ヨーロッパ中期予報センター(ECMWF)の台風進路予測情報に加え、米軍合同台風警戒センター(JTWC)の台風予測情報の提供を順次開始いたします。

ハレックスは、『気象』×『IT』の力で、私たちの生活をより安心して豊かなものに。」という企業理念のもと、気象データの利活用による社会課題の解決に取り組んでいます。

このたび当社では、気象 ASP サービス「HalexForesight!」および気象 API サービス「HalexSmart!」の新メニューとして、台風進路予測情報の提供元を拡充いたします。従来の気象庁(JMA)およびヨーロッパ中期予報センター(ECMWF)の情報に加え、新たに米軍合同台風警戒センター(JTWC)による予測情報の提供を順次開始いたします。

これにより、自治体、建設業、製造業、流通小売業など、様々な業種の防災・リスク管理担当者は、複数機関の予測情報を活用することで、幅広い視点から気象災害リスクへの対策を検討できます。

※本件は、2025 年 10 月 17 日に発表した「ECMWF 台風予測情報提供開始」に続く新たな取り組みです。

前回リリースはこちら:https://www.halex.co.jp/wp-content/uploads/2025/10/NR_ECMWF_20251010v3.pdf

また、当社の気象災害リスクモニタリングシステム「HalexForesight!」では、台風進路予測について新たに JMA・ECMWF・JTWC の 3 機関の情報を重ねて表示できる機能を提供し、台風の進路予測を多面的に比較することが可能となりました。



図 1 : 「HalexForesight!」で表示した各機関の台風予測情報。

「HalexForesight!」の特長や利用目的、提供ラインアップの詳細については、公式サイト
(<https://www.halex.co.jp/service/index/foresight.html>)をご覧ください。

今後もハレックスは、より多くの気象災害リスクに関する情報との連携を強化し、社会や企業の多様なニーズに応える気象情報サービスの拡充に努めてまいります。

会社概要

会社名:株式会社ハレックス

代表者:代表取締役社長 藤岡 浩之

本社所在地:東京都品川区東五反田 2-20-4 NMF 高輪ビル 3 階

設立:1993 年

URL:<https://www.halex.co.jp/>

*HalexForesight!・HalexSmart!は、株式会社ハレックスの登録商標です。

*その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

■ 報道関係のお問い合わせ先 株式会社ハレックス 企画部総務課 担当:山田 yamadatya@halex.co.jp Tel:03-5420-4311	■ 製品・サービスに関するお問い合わせ先 株式会社ハレックス ビジネスソリューション事業部 営業部 info_weather278@halex.jp Tel:03-5420-4311
--	---